審 査 員 特 別 賞

「　激動する令和！新たなる挑戦　」

経済学科　3 年　ベガ（P.N.）

これは、とある大学生の話である。2020 年、中国で発生したウイルスの影響により日本経済は戦後最悪の落ち込みを見せ、命のやり取りをする医療は深刻な人手不足に陥り、病床逼迫と叫ばれるようになった。そんな中、鉄道会社への就職を目指す大学生、すなわち生活を支え、社会貢献を軸とする就活生がいた。金を愛し、鉄道を愛し、干渉を嫌う。マニアックな知識と努力を惜しまない姿だけが彼の武器だ。商大生、T.S またの名を、鉄道マニア。

3！2！1！ゼロォォオオオ！！紅白が終わり迎えた 2020 年。この時は後に世界が変わってしまうことなど全く想像できなかっただろう。

「俺もそろそろ就活か……」

などと考えながら過ごしていたものだ。当然のように学校へ行き、授業を受け、帰宅する毎日。そんな日常が 4 か月後、突然崩れ去った。

4 月、新型ウイルスは世界中で猛威を振るい、日本では緊急事態宣言が発令され、生活は一変。学校の授業は全てオンライン。朝起きて、適当な時間になったら学校からの課題を黙々と進める毎日。喋る相手の殆どがパソコン。

「俺は一体何をやっているんだ？」

と虚無感を抱いたこともある。

そうこう過ごしているうちにあっという間に春も終わり、気づけば夏休み。ある日クイズ番組を見ていると何か書いてあるのが視野に入ってきた。

『鉄道、旅行に詳しい人募集！』

「これだ！このクイズ番組に出よう！昔からつけてきた鉄道の知識を使って自分の実力を試そう！」

そう思って受けた一次審査、2 日後に面接の通知が来た！

「ゑ、通った！？」

驚きを隠せない私。

「夢ではない、現実だ！」
私の中で嬉しさもある一方、緊張の方が大きかった。ついに面接の時が来た。
できる！という自己暗示も虚しく極度の緊張からか、うまく喋ることができず、残念な結果に終わってしまった。
「悔しい、何年経ってもあの番組がある限り諦めずに挑戦する！そして必ず出場してみせる！」
と心から誓った。これも人生経験だ。